

令嬢マッチング！〜社長の娘が淫乱すぎる件〜

S
T
R
A
Y

C
A
T

■作品の概要

△サークル▽

STRAY CAT（シナリオ／効果音／音声編集）

△ジャンル／年齢指定▽

バイノーラル音声作品／成人向け

△作品ボリューム▽

120m 台詞文字数 22,870文字

△舞台▽

現代／街中／レストラン／オフィス

■登場人物

△ヒロイン▽

名前 .. 神崎 さゆり（カンザキ サユリ／25歳）

人物 .. 神崎コーポレーション現社長の娘

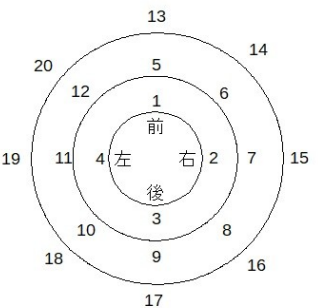
清楚系お嬢様タイプだが聴き手の前では様子がおかしい

平常時は品行方正／豹変時は淫乱

趣味／特技 .. 匂いフェチ／耳舐め

△聴き手▽

会社員 .. 神崎コーポレーションに勤める若手のホープ（25歳）



△台詞位置の指定図▽

図はマイクとの距離を示しています
1～4は30cm
5～12は50cm
13～20は1mを想定しています
距離が取れない場合、
こちらの音量調整等に対応します

1…社待ち合わせ（会話）

2…マッチング相手は社長令嬢（会話）

3…甘い誘惑と禁断の果実（匂い嗅ぎ／耳舐め）

4…とある昼休みのオフィスで（匂い嗅ぎ／耳舐め／手コキ）

5…新他のオフィスにて（耳舐め／素股）

6…一線を越えて（本番／中出し）

7…快樂のその先に待つ真実（会話）

1…待ち合わせ（街中／昼）

（街頭のザワザワした音）

（位置「／有声音」）

あ…、あの方かしら…？

（さゆりの足音）

（位置「／有声音」）

あの…、もしかして、マッチングアプリで待ち合わせの…。

あつ、そうですっ。

私（わたし）、さゆりです♪

事前に服装の特徴を聞いておいてよかった…。

アプリ以外では初めまして、ですね♪

あー、見つけられてよかったです♪

街中で人と待ち合わせるのって、実は久しぶりなもので…。

え？

あ、そうですね。

改めて自己紹介しましょう♪

えーっと…、どちらからでしょう？

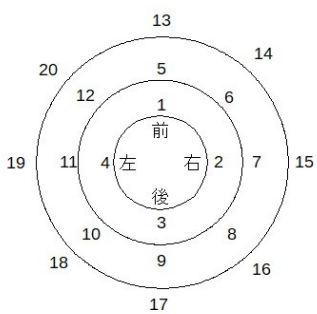
あなたからして下さいるんですね？

はい、お願いします♪

ええ…、ええ…。

へー、そうだったんですねっ♪

ふふっ♪



次は私から♪

さゆり事、神崎さゆりです♪

はい、さゆりは本名ですよ？

え？

普通ああいうアプリは本名でやらない…、ですか…。

そっなんですね…。

私こっいつのを利用するのは初めてでして、

よく考えず、本名をユーザー名に使っていました…。

成程…。

本名は使わない方がいい…。

へー、勉強になりました♪

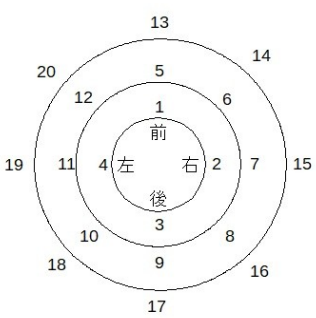
はい、何でしょう？

あ、そうですね。

立ち話も何ですし、落ち着ける場所へ移動しましょうか♪

案内して下さいるんですね？

はい、お願いします♪



2:マッチング相手は社長令嬢(レストラン／昼)

(位置13／有声音)

ご馳走様でしたーっ。

はい、美味しかったですー♪

このレストラン、素敵なお店ですね♪

個室で落ち着きつつ、こんなにも美味しいお料理が頂けるって、そうそう無いと思います。

他のお客さんも居るはずなのに、店内は静かですし♪

それに…、アンティーク調の部屋の造りがとても可愛いです♪

こんな癒される空間でお料理を頂いて…、お腹一杯で、まったりしちゃいますね♪

あ、そうだ。

このお店に来る途中でお話した…。

ええ、そうです。

趣味のお話です。

アプリでやり取りしている際にも伺ってはいましたけれど、

本当にゲームがお好きなんですね♪

ええっ。

お好きなゲームソフトのお話をされているあなた、目がキラキラしていましたもの。
私はゲームが苦手なので、あまりやらないんですけれど、

あなたのお話を聴いていたら、少し興味が出てきました♪

あ、そうそう。

以前、アプリの会話で、お仕事のお話しになりましたよね？

えーっと、確か…、建築関係のお仕事をされている…でしたか。

それを聞いて私、少し驚きました。

え…、何故って…。

私の父も、同じく建築関係の仕事を営んでいるんですもの。

ですから凄く偶然だなんて思っていたんです♪

お話を聞いていると、あなたはかなり優秀な人材の様ですし、

もしかしたら父の会社からヘッドハンティング…。

はい、何でしょうか？

父の会社名ですか…？

神崎コーポレーションですけれど…。

え…？？

(絶句) えっ！

あなた、父の会社の社員さんなんですかっ！？

嘘…、でしょ…。

あ、いえ、あなたが社員さんだって事は、本当に知りませんでした。

あなたも、私の事は知らなかった…、ですか…？

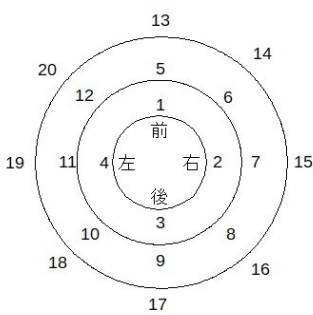
ですよ…。

こんな偶然って起こるものなのでしょうか…。

と、取り敢えず落ち着きましょう…。

(深呼吸) すー…、ふー…、すー…、ふー…。

え、何でしょうか？



ああー…、確かに…。

社長の娘が、何故マッチングアプリを利用しているか、

疑問に思われますよね…。

えっとですね…。

私の父は、考え方が古い人間でして…。

父ったら「婚約相手は私が連れてくる」って譲らないんです…。

でも私自身は、そんな愛のないお付き合い…、ましてや結婚だなんて考えられないんです。

それで父に歯向かってしまいました…。

「私だってお相手くらい自分で見つけられます」って…。

でも、いざ探すととなると、どうしていいやらサッパリでして…。

それで、色々と調べていたら、マッチングアプリのウェブ広告が目に入ったんです。

最初はこういうのって信じていませんでした…。

会員登録だけ取られて、出会いもないんじゃないかって…。

まあそれも勉強代と思って登録してみたんです。

登録だけして、何も通知が来なくてもいいとも思っていました。

でも違った…。

ある朝目が覚めると、数件アプローチした中から、一件の通知があった…。

それがあなたでした。

勿論最初は警戒していましたよ？

唐突に会おうと誘われるんじゃないかとか、色々と疑っていました…。

おかしいですよね…。

それが今日は、私の方から会おうって誘ったんですもの…。

アプリだけですべてが分かった訳ではありませんが、

この人は大丈夫だって、不思議とそう思えたんです…。

いざ会ってみたら、まさか父の会社の会社員さんだなんて…、

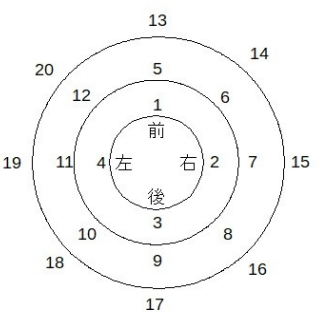
私があなただが勤めている会社社長の娘と分かった今、どう思われますか？

やはり関係を断ちたいと思われます？

え？

「社長の娘」ではなく、「私」に興味がある…？

そう…、ですか…。



ああ、いえ。

素直に嬉しいんです…。

私に言い寄ってくるのは、大抵が欲にまみれた人達ばかりでしたから…。

ですから、私を一人の女性として見て下さるのが嬉しくて…。

あの…、という事はつまり…、今後も関係が続けて下さる…、という事でしょうか…？

そうですね…。

よかった…。

はい、こちらこそよろしくお願いいたします♪

3…甘い誘惑と禁断の果実（レストラン個室／昼）

（位置13／有声音）

そういえばアプリの会話で、ゲームの他に「音声作品が好き」

って仰っていましたよね？

もしかして音声作品って…、「ASMR…」、とかの事ですか…？

え？

何故知っているか…、ですか？

えーっと…、それは…。

私、好奇心が強くて…、「音声作品」という言葉を初めて聞いて、

興味が湧いたんです♪

それと…、あなたが好きって言っているものなので尚更…。

それで…、ですね…。

実は私も…、音声作品を聞くようになったんです…。

いえ、無理はしていませんよ？

はい、お気遣いありがとうございます♪

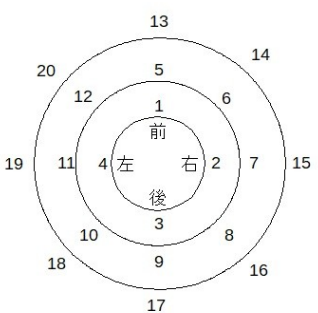
あなたは優しいですね…。

あ、それで…、ですね。

（これ以降さゆりが豹変します／誘う様にゆっくり）

音だけであんなにゾクゾクっと気持ちよくなるんですから、

実際にやってみたらどうなってしまいうだろうって、興味があるんです♪



あら、あなたは興味ないんですか？

(さゆりの足音)

(位置13から17へ移動しながら／有声音)

だって…、気持ちいい事…、嫌いじゃないでしょう…？

(位置2／有声音／小声)

本当に興味がないんですか…？

私…、あなたにだったら気持ちいい事…、してあげてもいいかなって思っているんです…。

ふふっ♪

そんなに身体を強張らせて…。

え？

ここではマズい…？

マズいって…、何を思い浮かべているのかしら…♪

ねえ…、何を期待しているんです…？

教えてくれませんか…？

(耳ふー) ふー…。

ふふっ♪

ビクッと身をよじらせて…。

成程…、お耳に息を吹きかけると、実際はこういう反応をするんですね…♪

(さゆりの足音)

(位置2から4へ移動しながら／有声音／小声)

反対にもしていいですか…？

(位置7／有声音／小声)

音声作品って…、こういう相手の感度から確かめるっていう導入が多いですよね…。

(耳ふー) ふー…。

私知ってるんです…。

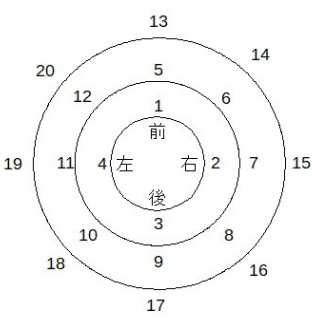
音声作品を聴く人の大多数は…、エッチな作品も聴いているって…。

あなたもそうでしょう…？

…。

否定しないっていう事は…、そういう事なんですよね…？

それともあれかしら…。



突然こんな展開になって焦っている…、ていうのが正直な所かしら…♪
無理もないですよ…。

だって、実質初対面の私が今…、こうして耳元に居るんですもの…♪
こんな事になるなんて思いもしなかった…。
そんな所よね…♪

ふふっ♪

でも私は違うの…。

最初からそのつもりで来ているんですから…。

あら、意外って顔をしていますね？

何故かしら？

(さゆりの足音)

(位置[△]から[△]へ移動しながら／有声音／小声)

ねえ…、私の事…、どういう女性だと思っていたんです…？

(位置[△]／有声音／小声)

言ったでしょう…？

私…、好奇心が強いんだって…。

ですから…、あなたにも…、とても興味があるんです…♪

あなたは…、私に興味がないんですか…？

私の唇…、こんなに近いんですよ…？

ああ…、今にも触れてしまいそう…。

(耳^{ふー}) ふー…。

ほら…、触れてしまいますよ…。

(耳にキス) ちゅっ。

今日初めて会ったあなたに…、キスしちゃいました…♪
もう一回…。

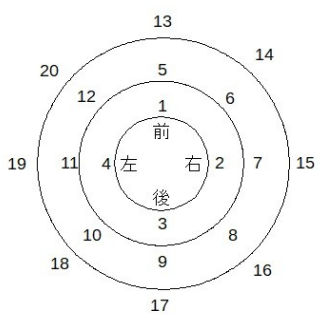
(耳にキス) ちゅっ。

ふふっ♪

お耳にキスしただけなのに…、いい反応ですね…♪

ねえ…、反対のお耳にもして欲しいですか…？

あら…。



展開が唐突過ぎて…、言葉が出ないのかしら…。

(さゆりの足音)

(位置[△]から[△]へ移動しながら／有声音／小声)

拒否しないって事は…、してもいいって事ですよね…？

(位置[△]／有声音／小声)

こっちのお耳も…。

…。

キス…、すると思いました…？

黙っていても分からないじゃないですか…♪

どうして欲しいのか…、聞きたいんですけれど…。

して…、欲しいですか…？

ふふっ♪

そんなに首を縦に振って…、あなたは正直者ですね…♪

そんなあなたの…、お耳に…。

(耳にキス) ちゅっ。

ねえ…、気付いてます…？

私の胸…、あなたの肩に当たってる…。

ううん…、ワザと当てているんですけれどね…♪

(耳にキス) ちゅっ。

それでも私に興味が沸きませんか…？

そうですか…。

中々強情ですね…。

(さゆりの足音)

(位置[△]から[△]へ移動しながら／有声音／小声)

でも…、身体は正直みたいですよ…？

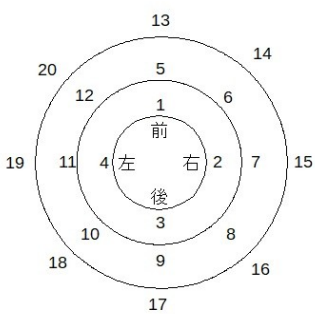
(位置[△]／有声音／小声)

だってほら…。

あなたのお耳…、熟れた林檎の様に真っ赤…。

これは興奮して…？

それとも恥ずかしくて…？



あるいはまだ緊張しているのかしら…？
理由はどうあれ…、とても美味しそう…。

食後のデザートに…、頂いてしまってもいいですか…？

ああ…、でもあなたは初対面…。

こんなの…、イケナイ事だっていうのは分かっているのにどうして…。

これはそう…、口にはならないもの…。

例えるなら…、真っ赤に色付いた禁断の果実…。

どうしましょう…。

そう考えると…、余計に欲しくなってしまう…。

もう駄目…、我慢出来ません…。

え…？

人が入ってきたらマズい…？

大丈夫ですよ…♪

誰も入って来ないと思います…。

何故って…。

このお店なんですけれど…、実は父の会社が土地を貸しているんです…。

で…、オーナーさんに事情を話して…、今日は貸し切りにしてもらいました…♪

だから静かなんですよ…♪

あなたが選んだお店なのに…、偶然ですね…♪

本当に偶然かしら…、ふふっ…♪

あら…、驚いたって顔をしていますね…。

ああ…、普段はこんな荒っぽい事はしませんよ…？

今日は特別…。

ですから…、あなたと私だけの時間を楽しみましょう…♪

さて…、この林檎…、どう味わおうかしら…。

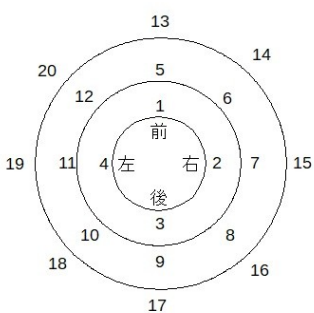
早々に齧ってしまったてもいいんですよ…。

それだと勿体ないんですよ…。

美味しいものを頂くには…、そう…、香りも大事…。

この林檎は…、こういう香りがするのかしら…。

(匂いを嗅ぐ) くんくん…、くんくん…。



ああ、何ていい香りなんでしょう…。

(匂いを嗅ぐ) くんくん…、くんくん…、はあ…。

甘酸っぱくて…、それでいて独特のイケナイ香りがします…。

私…、匂いフェチなんです…♪

何でも匂いを嗅ぎたくなってしまっ…、重度の匂いフェチ…。

今まで色んなものの匂いを嗅いできたけれど…、これは過去最高に危険な香り…。

(匂いを嗅ぐ) くんくん…、はあ…、くんくん…。

ああ…、匂いだけで濡れて来てしまいそうです…。

(さゆりの足音)

(位置から移動しながら有声音／小声)

こちらも確かめてみませんとね…。

(位置有声音／小声)

(匂いを嗅ぐ) くんくん…、くんくん…。

はあ…、これが禁断の果実の香り…。

(匂いを嗅ぐ) くんくん…、はあ…、くんくん…。

ねえ…、私…、もう我慢出来ません…。

この林檎…、頂いてもいいですか…？

ううん…、拒否しても駄目です…。

こんなにも美味しそうなのに…、もう耐えられません…。

それにあなた…、さっきよりも肩の力が抜けてきているの…、気付いてます…？

それはつまり…、もう私に身を委ねている…。

違いますか…？

否定しないんですね…♪

という事は…、頂いてしまっても構わない…、そう判断しました…♪

では早速…、と言いたい所ですが…、少しずつ丁寧に味わって行く事にしましょう…。

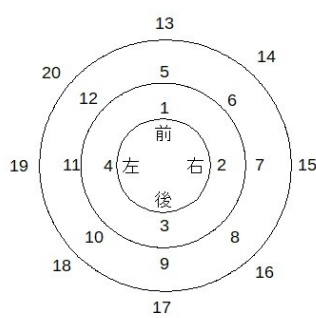
まずは甘噛みから…。

(耳を甘噛み)

はーむ…、はむはむ…。

はむはむ…、はむはむ…。

はむはむ…、はむはむ…、ずりゅ…。



(二)ここまで甘噛み)

ああ…、これが禁断の果実の味…。

こんなに甘美で…、芳醇で…、濃厚なんですね…。

(耳を甘噛み)

はーむ…、はむはむ…。

はむはむ…、はむはむ…。

はむはむ…、はむはむ…、ざりゅ…。

(三)ここまで甘噛み)

ああ…、最高…。

これまでに美味しいものは…、星の数ほど食べてきたけれど…、今までにない味…。

そう…、唯一無二…。

素晴らしいわ…♪

もっと味わってもいいですよね…？

あら…、さつきまでと…、雰囲気があるで違いますね…。

あなたもようやく…、その気になってきたのかしら…♪

でも駄目よ…。

今は私がお食事しているの…。

お食事中は行儀よくしていなくては…。

でしょう…？

うん、分かっているみたいですね…♪

いいわ…。

では続きを…。

(耳を甘噛み)

はーむはむ…、はむはむ…。

ずりゅずりゅ…、はーむはむ…。

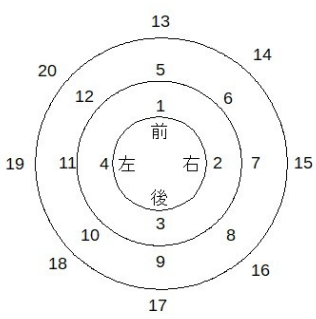
はむはむ…、はむはむ…、ちゅぱっ。

(四)ここまで甘噛み)

ああ…、ついつい夢中になってしまいました…。

私ったら…、はしたない…。

こんなにあなたのお耳が…、いいえ…、禁断の果実がトロトロになってしまいました…。



そろそろ食べ頃になったかしら…？

(水音少な目の耳舐め)

はーむ…ペロペロ…はあ…ん…ペロペロ…レロレロ…レロレロ…。

レーロ…レロレロ…レロレロ…はあ…ペロペロ…ペロペロ…。

はあ…ペロ…ペロペロ…ペロペロ…レーロ…レロレロ…ん…レロレロ…。

チュル…ジュル…ん…。

(ここまで耳舐め)

こーら…、そんなにビクビク動いたら…、上手に食べられないじゃないですか…？

あ…、そっだ…♪

(さゆりの足音)

(位置[△]から^ーへ移動しながら／有声音／小声)

こういうのはどうかしら…？

(服が擦れ合う音)

(位置^一／有声音／小声)

あはっ…♪

あなたの上に…、跨っちゃった…♪

椅子に座っているあなたは…、こうされてしまうと動けませんよね…♪

ねえ…、今とってもエッチな事になっているって…、分かっていますか…？

誤魔化せるとでも思いました…？

だってあなたの下半身…、硬くなっているの…、気付いていますよ…♪

でもダーメ…♪

そう…、今は私のお食事中…♪

話が早くて助かります…♪

待てが出来て偉いですね…。

(服が擦れ合う音)

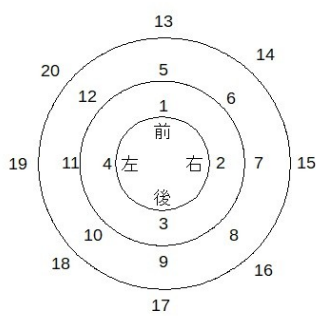
(位置^一から^二へ移動しながら／有声音／小声)

では今度はこっち…。

(位置^二／有声音／小声)

ああ…、とても罪深い…。

二つ目の禁断の果実…。



左右で味も違うのかしら…？

試してみますね…♪

(耳を甘噛み)

はーむはむはむ…、はむはむ…。

ざりゅざりゅ…、はむはむ…。

はーむはむ…、はむはむ…、ちゅぱっ。

(ここまで甘噛み)

こっちは更に色付いて…、お味の深みが増しています…。

どちらも最高のお味…。

ああ…、動いてはいけませんよ…。

だって動いたら…、硬くなったあなたの下半身が…、私の気持ちいい所に擦れちゃう…。

そうになったら私…、もう我慢出来なくなってしまう…。

ええ…、これでも我慢しているんですよ…？

こんな淫乱な女性は…、お嫌いですか…？

音声作品でしたら…、よくあるシチュエーションでしょう…？

そう…、だからこの後に起こる事も…、想定内ではなくて…？

ふふっ…♪

残念でした…♪

今日はそこまでしませんよ…？

そう…、今日は…、ねっ…♪

さて…、お話しばかりしては勿体ないですね…。

いくら貸し切りにしてもらったとは言え…、

余り長居すると…、お店にも迷惑になってしまいます…。

だから…、っ・づ・き…♪

(水音少な目の耳舐め)

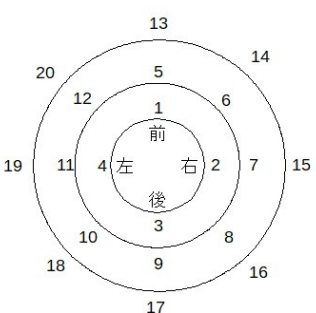
はーむ…ペロペロ…ペロペロ…ん…はあ…レロレロ…レロレロ…。

レロレロ…レロレロ…はあ…レロレロ…レロレロ…。

はあ…レロレロ…レロレロ…レロレロ…レロレロ…。

はーむ…ペロペロ…はあ…ん…ペロペロ…レロレロ…レロレロ…。

レー□…レロレロ…レロレロ…はあ…ペロペロ…ペロペロ…。



はあ…ペロ…ペロペロ…ペロペロ…レーロ…レロレロ…ん…レロレロ…。
チュル…ジュル…ん…。

(二つまで耳舐め)

ねえ…、もつと奥までいいですか…？

あら…、待ってましたってお顔ですネ…♪

ではご期待にお応えしましょう…♪

(水音少な目の耳舐め)

はーむ…ずりゅ…ぎりゅ…ぎりゅ…ずりゅ…ぎりゅ…。

ずりゅ…ぎりゅ…ずりゅ…ぎりゅ…はあ…ぎりゅ…ぎりゅ…。

レロ…ずりゅ…ぎりゅ…はあ…ぎりゅ…ずりゅ…ぎりゅ…。

ずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅ…。

ずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅ…。

わりゅ…ぎりゅ…ずりゅ…ぎりゅ…ずりゅ…ぎりゅ…。

はーむ…ずりゅ…はあ…ぎりゅ…ぎりゅ…ずりゅ…ぎりゅ…。

ずりゅ…ぎりゅ…ずりゅ…ぎりゅ…ぎりゅ…ぎりゅ…。

(二つまで耳舐め)

ふふっ…♪

声を抑えるのがやっとなって感じですね…♪

(台詞は声に出さず水音少な目の耳舐め)

レロ…ずりゅ…はあ…ぎりゅ…ぎりゅ…ずりゅ…ぎりゅ…。

わりゅ…ぎりゅ…ずりゅ…ぎりゅ…ずりゅ…ぎりゅ…。

わりゅわりゅわりゅわりゅわりゅわりゅわりゅわりゅ…。

わりゅわりゅわりゅわりゅわりゅわりゅわりゅわりゅ…。

はーむはむ…ずりゅ…はあ…ぎりゅ…ぎりゅ…ずりゅ…ぎりゅ…。

ずりゅ…ぎりゅ…ずりゅ…ぎりゅ…ぎりゅ…ぎりゅ…。

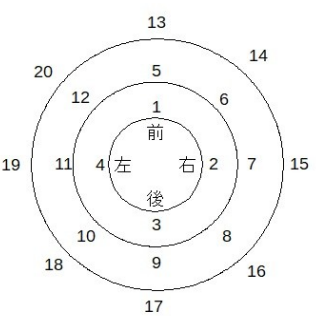
(二つまで耳舐め)

はあ…。

あなたがビクビク動くから…、反動で擦れてる…。

ここ…、おちんちん…。

ふふっ…。



触ってもらえると思いました…？

私がそんな事をする女性だと思っっているんですか…？

淫らで…、いやらしくて…、欲情にまみれた女性だとても…？

あはっ…♪

ごめんなさい…？

ちよっとからかい過ぎましたね…♪

今日の所はダメって言いましたよね…？

そう…、お・あ・ず・けっ…、ですっ…♪

(服が擦れ合う音)

(位置²から⁴へ移動しながら／有声音／小声)

その代わり…、こっちで気持ちよくしてあげます…♪

(位置⁴／有声音／小声)

(水音少な目の耳舐め)

はーむ…レロレロ…レロレロ…ん…はあ…ペロペロ…ペロペロ…。

レロレロ…レロレロ…はあ…レロレロ…レロレロ…。

レロレロ…レロレロ…レロレロ…はあ…レロレロ…。

はーむ…ペロペロ…ペロペロ…レロレロ…はあ…ん…レロレロ…。

レーロ…レロレロ…レロレロ…はあ…ペロペロ…ペロペロ…。

はあ…ペロ…ペロペロ…ペロペロ…レーロ…レロレロ…ん…レロレロ…。

チュル…ジュル…んあ…。

(ここまで耳舐め)

ああ…堪らないです…。

ずっとこのままで居たいくらい…。

時間が止まってしまえばいいのに…。

(水音少な目の耳舐め)

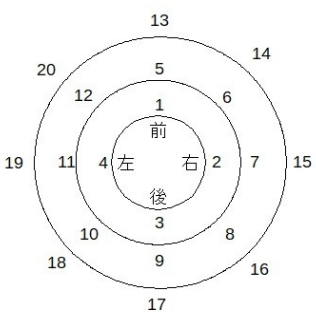
はーむ…ずりぬ…ぎりぬ…ぎりぬ…ずりぬ…ぎりぬ…。

ずーりぬ…ぎーりぬ…ずーりぬ…はあ…ぎりぬ…ぎりぬ…ぎりぬ…。

レロ…ずりぬ…ぎりぬ…はあ…ぎりぬ…ずりぬ…ぎりぬ…。

ずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬ…。

ずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬ…。



ざりゆ…ざりゆ…ずりゆ…ぎりゆ…ずりゆ…ぎりゆ…。
はーむ…ずりゆ…はあ…ぎりゆ…ぎりゆ…ずりゆ…ぎりゆ…。
ずりゆ…ざりゆ…ずりゆ…ぎりゆ…ぎりゆ…ぎりゆ…。

(二つまで耳舐め)

ああ…、いけない…。
残さず頂かないと…。

え？

これ以上はマズい…？

何がマズいのかしら…？

とても美味しいわよ…♪

初対面とか…、お店の中だとか…、そんなの今は関係ない…。

(水音少な目の耳舐め)

はーむ…ずりゆ…ざりゆ…ぎりゆ…ずりゆ…ぎりゆ…。

ずりゆ…ざりゆ…ずりゆ…ぎりゆ…はあ…ぎりゆ…ぎりゆ…。

レロ…ずりゆ…ぎりゆ…はあ…ぎりゆ…ずりゆ…ぎりゆ…。

ずりゆずりゆずりゆずりゆずりゆずりゆずりゆずりゆ…。

ずりゆずりゆずりゆずりゆずりゆずりゆずりゆずりゆ…。

ざりゆ…ざりゆ…ずりゆ…ぎりゆ…ずりゆ…ぎりゆ…。

はーむ…ずりゆ…はあ…ざりゆ…ぎりゆ…ずりゆ…ぎりゆ…。

ずりゆ…ざりゆ…ずりゆ…ぎりゆ…ぎりゆ…ぎりゆ…。

(二つまで耳舐め)

私はただ…、食後のデザートをお願いしているだけ…。

違う…？

そうですね…。

だったら問題ないのでは…？

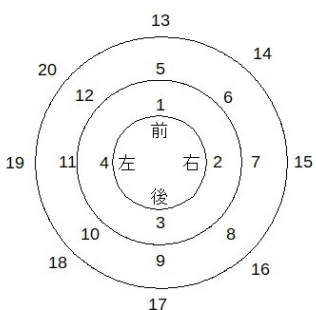
(水音少な目の耳舐め)

はーむ…ぎりゆ…ぎりゆ…ぎりゆ…ぎりゆ…ぎりゆ…。

ずりゆ…ぎりゆ…ずりゆ…ぎりゆ…はあ…ぎりゆ…ぎりゆ…。

レロ…ぎりゆ…ぎりゆ…ぎりゆ…はあ…ぎりゆ…。

ずりゆずりゆずりゆずりゆずりゆずりゆずりゆずりゆ…。



はーむ…ずりゅ…はあ…げりゅ…げりゅ…ずりゅ…げりゅ…。
ずりゅ…げりゅ…ずりゅ…げりゅ…げりゅ…げりゅ…げりゅ…。

(二つまで耳舐め)

あら…、更に熟したのかしら…。

甘味が増しています…。

これが禁断の果実が生み出す…、本来の味なのかもしれませんね…♪

(水音少な目の耳舐め)

はーむ…げりゅ…げりゅ…げりゅ…げりゅ…げりゅ…。

ずりゅ…げりゅ…ずりゅ…げりゅ…はあ…げりゅ…げりゅ…。

レロ…げりゅ…げりゅ…げりゅ…はあ…げりゅ…。

ずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅ…。

ずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅ…。

げりゅ…げりゅ…ずりゅ…げりゅ…ずりゅ…げりゅ…。

はーむ…ずりゅ…はあ…げりゅ…げりゅ…ずりゅ…げりゅ…。

ずりゅ…げりゅ…ずりゅ…げりゅ…げりゅ…げりゅ…。

はーむ…ずりゅ…げりゅ…げりゅ…ずりゅ…げりゅ…。

ずりゅ…げりゅ…ずりゅ…げりゅ…はあ…げりゅ…げりゅ…。

レロ…ずりゅ…げりゅ…はあ…げりゅ…ずりゅ…げりゅ…。

ずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅ…。

ずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅ…。

げりゅ…げりゅ…ずりゅ…げりゅ…ずりゅ…げりゅ…。

はーむ…ずりゅ…はあ…げりゅ…げりゅ…ずりゅ…げりゅ…。

ずりゅ…げりゅ…ずりゅ…げりゅ…げりゅ…げりゅ…。

ちゅぱっ…。

(二つまで耳舐め)

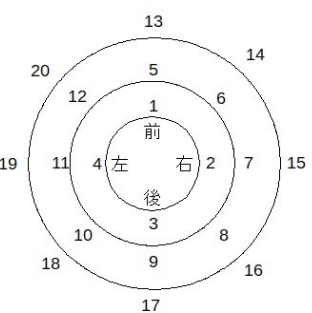
ああ…、美味しかった…。

名残惜しいけれど…、今日は二つまでにしておきましょう…。

(位置2から1へ移動しながら／有声音／かなり小声)

あら…、何をキョトンとしているんです…？

(位置1／有声音／かなり小声)



散々言ったじゃないですか…♪

今日はダメだって…。

そう…、少しずつ味見したいんです…。

それにほら…、もう直ぐランチの時間が終わってしまいます…。

貸し切りについては…、ランチの時間内で、とお約束していますので…。

権利を乱用してはいけないでしょう…？

もう…、そんなに残念そうな顔をして…。

余程ここが物足りないんですね…。

そう…、勃（た）っているってハッキリ分かる程…、ズボンが膨らんでいるんですもの…。

でもダーメ…♪

ゆっくりとあなたとの距離を縮めていきましょう…？

って…、こんな事をした後に言う事ではないですね…♪

（さゆりが聴き手から降りる音）

（位置1から4へ移動しながら／有声音／小声）

さて、いつまでもこうしていたら、あなたが可愛そうですよね♪

（位置4から13へ移動しながら／有声音／小声）

そろそろお店を出る準備をしないと♪

（位置13／有声音）

ふふっ♪

まさか初対面でこんな事になるなんて…。

そう思っているでしょう？

まあ無理もないですよね。

あなたの勤めている会社の社長…、つまり父の娘がこんなに淫らだなんて、

誰にも想像出来ないと思います♪

でもこれはあなただからこそなの。

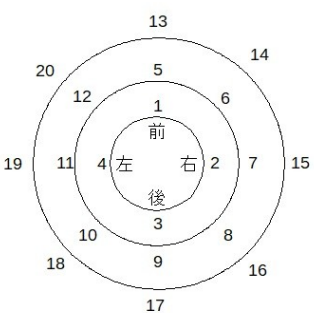
つまり…、あなたにとっても興味があるっていう意味ですよ…♪

私、人一倍好奇心が強いって言ったじゃないですか？

今、その熱が高まっているんです♪

いえ…、こんなにも熱いのは初めてかもしれません…。

ですから、また会って頂けませんか？



本当？

よかったです♪

ではまた会って頂ける、という事で♪

お約束、守って下さいねっ♪

はい、そろそろお店を出しましょう♪

4…とある昼休みのオフィスで（会社オフィス／昼休み）

（キーボードを打つ音）

（さゆりの足音）

（位置19／有声音）

こーんにーちはっ♪

（位置19から22へ移動しながら／有声音）

あら、そんな幽霊でも見たような顔をしないでもらえます？

（位置22／有声音）

何故ここに居るのですか？

ああ、言っていないでしたっけ？

私、この会社で外来者窓口の受付をしているんです♪

あなたの部署はお客様と直接やり取りしないですから、ご存じないかもしれませんが。

で、お昼休みですし、あなたは今どうしているのになって、気になって来てみたんです♪

あなた、お昼休みなのに休まないんですか？

ええ…、へえ…。

明日の会議で使う資料を…？

本来はしっかりとお昼休みを取ってもらわないと…。

そう、資料が出来たら休むんですね？

だったらいいんです。

という事は私が居たら邪魔ですよね…？

え、居てもいいんですか？

それだと作業が進まないんじゃないです？

はあ…、もう少しで完成するんですね？

（含みを込めて）ふーん…。

あ、いえ。

特に深い意味はないんですけれど…、何かお手伝い出来る事はないかなと思ひまして。

(さゆりの足音)

(位置ニからヲへ移動しながら／有声音／小声)

それに…、働いているあなたを見るのは初めて…、ですし…。

(位置ヲ／有声音／かなり小声)

えー、だって…、気になる男性が働いている姿って…、カッコいいじゃないですか…♪
さあほら…、作業を続けて下さい…？

私は横で見えていますから…。

(キーボードを打つ音)

(匂いを嗅ぐ) くくん…、すーは…。

ああ、すみません…。

つい癖で…。

でも…、働く男性の匂いって…、私大好き…。

え…？

近い…？

大丈夫ですよ…。

お昼休みで人が少ないですし…。

それにパーティションで周りからは見えません…。

だ・か・ら…。

こういう事をしててもバレないんです…♪

(水音少な目の耳舐め)

はーむ…レロレロ…レロレロ…ん…はあ…ペロペロ…ペロペロ…。

レロレロ…レロレロ…はあ…レロレロ…レロレロ…。

チュル…ジュル…んあ…。

(ここまで耳舐め)

ああ…、私…、またイケナイ事をしている…。

でも…、目の前にあったら…、我慢出来ないの…。

分かってくれますか…？

ここではマズい…？

あら…、言葉とは裏腹に…、ビクビク感じていたの…、見逃しませんでしたよ…？
ふふっ…♪

(さゆりの足音)

(位置⁴から²へ移動しながら／有声音／小声)
身体は正直って…、こういう事なんでしょうね…♪

(位置²／有声音／かなり小声)

ねえ…、作業しなくてもいいんですか…？

お昼休み…、終わっちゃいますよ…？

ほら…、続けて下さい…？

(キーボードを打つ音)

ふふっ…♪

(匂いを嗅ぐ) すんすん…、すーはー…。

(耳ふー) ふー…。

あはっ…♪

ごめんなさい…♪

つかいかいたくなってしまうて…。

もうしませんから…、許してくれませんか…？

はい、ありがとうございます…♪

あなたは優しい…。

だから余計に…、からかいたくなってしまう…。

ねえ…、誰にもバレない様に…、もっとしてはダメですか…？

だって…、あなたのおい…、あなたのお味…、堪らないんですもの…。

もし邪魔だったら…、やめておきます…。

…。

無言って事は…、してもいいんですね…？

…。

ふふっ…♪

バレてはいけない…、でもして欲しい…。

その間(はざま)で彷徨っているのかしら…♪

して欲しいんですたら…、そのお口から直接聞きたいです…。

私だって…、同意のない行為は嫌…。

ですからさあ…、聞かせて下さい…？

ああ…、欲に正直ですね…♪

（さゆりの足音）

（位置2から1へ移動しながら／有声音／小声）

では早速…、失礼します…♪

（位置1／有声音／小声）

あはっ…♪

あなたに跨っちゃいました…♪

先日と同じ体勢ですね…。

でも今日は違う…。

ここはオフィス…。

もし誰か訪ねてきたらお終い…。

ふふっ…♪

もがいても…、もう逃げられないですよ…♪

ほら…、見て下さい…？

目の前には私の胸…。

結構自信あるんですよ…？

触ってみたくありませんか…？

ふふっ…♪

首は横に降っていても…、鼻息は荒くなっていますね…。

この誘惑には抗えない…、違います…？

それともこういうのは初めてですか…？

私…、実は今、ノーブラなんですよ…♪

だからブラウスの下の乳首がほら…、ぷっくり膨らんでいるの…、分かります…？

ねえ…、触って下さい…。

そのためにブラを外して来たんです…。

意外ですか…？

こんな痴女は…、もしかしてお嫌い…？

黙っていても分かりません…。

仕方ありませんね…。

あなたから来ないなら…、その気にさせてあげます…♪
よく見ていて下さいね…♪

ほら…、ボタンを外していきますよ…。

一つ…。

二つ…。

谷間…、見えるでしょう…？

これでもまだ…、その気になりません…？

ふわふわで…、柔らかい胸が…、目の前にあるというのに…。

三つ…。

ほら…、見て下さい…。

私の胸…。

ノーブラでしたから…、ブラウスが擦れて…、乳首が立ってしまいました…♪
触りたくないですか…？

いいえ…、触って下さい…。

もう我慢出来ません…。

気持ちよくして欲しいんです…。

ほら…、手をここへ…。

あつ…♪

こっちの手も…。

ああつ…♪

ほら…、揉んで下さい…。

柔らかいでしょう…？

んっ…♪

（服が擦れ合う音）

（位置△／有声音／かなり小声）

もっと強く…。

あんっ…♪

もっとです…。

もっと…っ！

そう…、そうです…。

（服が擦れ合う音）

（位置 1 / 有声音 / かなり小声）

ああ…、私たち…、イケナイ事をしている…。

でもダメ…、感じちゃいます…。

あつ…♪

（服が擦れ合う音）

（位置 2 / 有声音 / かなり小声）

（鼻息） ふー…、ふー…。

あんっ…♪

ダメ…、自然と腰が…、あつ…♪

ねえ…、私の気持ちいい所に…、何か硬いものが擦れているんですけれど…。

あなたも興奮してきたんですか…？

（服が擦れ合う音）

（位置 1 / 有声音 / かなり小声）

ふふっ…♪

否定してもダメ…♪

こんなに硬くて…、膨らんでいるんですもの…。

スーツのズボンが破けてしまうそう…。

今助けてあげますからね…♪

マズい…？

あはっ…♪

もがいても逃げられませんよ…♪

それに余りガタガタ音を立てると…、誰か来てしまうかも…♪

だから大人しく降参して認めて下さい…？

あなたも興奮しているんだって…。

ほら…、今開放してあげますからね…。

（ファスナーを下ろす音）

まあ…、あなたのおちんちん…、もうこんなにも大きくなって…。

助けてあげて正解でしたね…♪

こんなになっているのに…、窮屈なままでは可哀そうですもの…。
ねえ…、私も触っていいですか…？

あなたの事も気持ちよくしてあげたいんです…。

嫌と言っても触っちゃうんですけど…♪

あぁっ…。

すごい…。

太くて…、硬くて…、熱い…。

こんなに凶暴なものがズボンの中で暴れていたんですね…。

この凶暴なおちんちん…、どうしたら治まるのかしら…♪

教えてもらえませんか…？

え？

聞こえません…。

ふふっ…♪

へえ…、シコシコ動かすと鎮まるんですね…？

で…、して欲しいんですか…？

オフィスなのに…？

あはっ…♪

欲望に正直なのはいい事です…♪

ではシコシコ…、していきましようね…♪

ちよっとあなた…、胸を揉む手が止まっていますよ…？

私の事も気持ちよくしてくれないと…、不公平じゃないですか…？

あっ…♪

そう…、続けて下さい…♪

気持ちよくしてくれる代わりに…、私もシコシコしてあげますね…♪

(手コキの音)

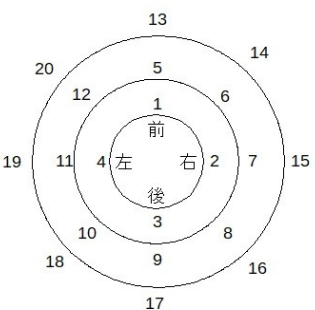
(服が擦れ合う音)

(位置〳有声音／かなり小声)

どうです…気持ちいいですか…？

ああ…、聞かなくても分かります…♪

(服が擦れ合う音)



(位置〰からㇿへ移動しながら／有声音／かなり小聲)
だって…、さっきよりも益々硬くなっているんですもの…。

(位置ㇿ／有声音／小聲)
それにほら…。

少ししごいただけで…、もう出てきているものがありますよ…。
そう…、我慢汁(がまんじる)…。

おちんちんの先から…、どんどん溢れてきています…。

(服が擦れ合う音)

(位置ㇿから〰へ移動しながら／有声音／かなり小聲)

本当に凶暴なんですから…。

(位置〰／有声音／かなり小聲)

例えるなら…、獲物を目の前にしたケモノ…。

涎を垂らして…、今にも飛びかかってきそう…。

でもダメですよ…。

この体勢…、私が上に乗っているんですから…、寧ろあなたは私の獲物…。
だ・か・ら…。

主導権は握らせませんよ…？

そう…、主導権もおちんちんも…、私が握っているの…。

さて…、どうやってあなたを頂こうかしら…。

(匂いを嗅ぐ) くんくん…、すーは…。

ああ…、二人とも興奮しているからかしら…。

先日とはまた違った…、危険な香りがします…。

危険だと分かっているけど…、食べたいと思うてしまう…。

人間って罪な生き物ですね…。

もうダメ…。

我慢出来ません…。

(水音少な目の耳舐め)

はーむ…ずりゅ…ずりゅ…ずりゅ…ずりゅ…ずりゅ…ずりゅ…。

ずりゅ…ずりゅ…ずりゅ…ずりゅ…ずりゅ…はあ…ずりゅ…ずりゅ…。

レロ…ずりゅ…ずりゅ…はあ…ずりゅ…ずりゅ…ずりゅ…ずりゅ…。

(二)まで耳舐め)

（位置～から→へ移動しながら／有声音／かなり小声）

(位置／有声音／かなり小声)

(水音少な目の耳舐め)

りゆずりゆずりゆずりゆずりゆずりゆずり

はーむ……ずりゅ……はあ……ざりゅ……ざりゅ……ずりゅ……ざりゅ……。

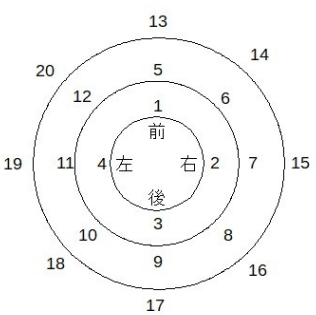
りゅ…ぎゅ…ずりゅ…ぎゅ…はあ…ぎゅ…ぎゅ…。

[illegible]

りゆ……りゆ……ずりゆ……りゆ……りゆ……りゆ……。

(二)まで耳舐め)

ねえ…、私の胸…、揉むだけで満足ですか…？



もって好きな様にしていいいんですよ…？

あなたに揉まれて…、乳首が更に立っているの…、気付いてました…？

コリコリになった私の乳首…、いじってくださいませんか…？

あぁっ…♪

そう…、指で転がしたり…、摘まんだり…、私をもっと感じさせて下さい…♪

あんっ…♪

ああ…、気持ち…、いい…。

(服が擦れ合う音)

(位置4から2へ移動しながら／有声音／かなり小声)

もっ…、もっと感じさせて…。

(位置2／有声音／かなり小声)

(水音少ない目の耳舐め)

はーむ…ズリゅ…ズリゅ…ズリゅ…ズリゅ…ズリゅ…。

ずりゅ…ズリゅ…ずりゅ…ズリゅ…はぁ…ズリゅ…ズリゅ…。

レロ…ズリゅ…ズリゅ…ズリゅ…はぁ…ズリゅ…。

あんっ…♪

ふふっ…♪

ずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅ…。

ずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅ…。

ズリゅ…ズリゅ…ずりゅ…ズリゅ…ずりゅ…ズリゅ…。

はーむ…ずりゅ…はぁ…ズリゅ…ズリゅ…ずりゅ…ズリゅ…。

ずりゅ…ズリゅ…ずりゅ…ズリゅ…ズリゅ…ズリゅ…。

はーむ…ずりゅ…ズリゅ…ズリゅ…ずりゅ…ズリゅ…。

ずりゅ…ズリゅ…ずりゅ…ズリゅ…はぁ…ズリゅ…ズリゅ…。

レロ…ずりゅ…ズリゅ…はぁ…ズリゅ…ずりゅ…ズリゅ…。

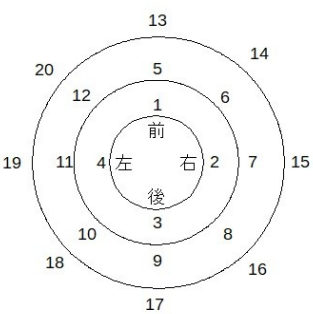
ずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅ…。

ずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅ…。

ズリゅ…ズリゅ…ずりゅ…ズリゅ…ずりゅ…ズリゅ…。

はーむ…ずりゅ…はぁ…ズリゅ…ズリゅ…ずりゅ…ズリゅ…。

ずりゅ…ズリゅ…ずりゅ…ズリゅ…ズリゅ…ズリゅ…。



(二)まで耳舐め)

凄い…。

あなたのおちんちん…、まだ硬くなるんですね…♪

お耳より真っ赤になって…、脈打っています…♪

それにあなたから溢れ出た我慢汁が…、天然のローションになっていますよ…。

ねえ…、グチュグチュになったおちんちん…、気持ちいいですか…？

あら…、気持ちよすぎて言葉が出ないのかしら…？

ふふっ…♪

でも…、これで終わりじゃないんですよ…？

ほら…、ただシコシコするのではなくて…、捻じりながらシコシコするんです…。

こうすると色んな所が刺激されて…、あなたはもう我慢出来なくなるはず…♪

あはっ…♪

そんなにのけ反って…♪

(服が擦れ合う音)

(位置2から1へ移動しながら／有声音／かなり小声)

もうそろそろ限界かしら…？

(位置1／有声音／かなり小声)

勝手にイってはダメですよ…？

私が主導権を握っているって言いましたよね…？

ねえ…、イきたいですか…？

イきたいんですたら…、お願いしてくれませんか…？

イかせて下さいって…♪

ほら…。

ほーら…♪

あはっ…♪

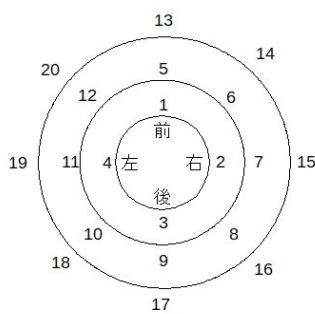
イきたいんですね…？

そんなに目をうるうるさせて…。

可愛い…♪

可愛くお願いしてくれましたから…、いつでもイっていいですよ…♪

ほら…、シコシコする手も速くしてあげます…♪



どう…？

いきそう…？

いきそうなんです…？

ああ凄い…、まだ硬くなるだなんて…。

ほらいって…。

イって…。

イク…。

イク…？

イクっ…！

出して…！

出して…！

出してっ…！

（射精）

あっ…、あっ…！

はあ…、はあ…。

はあ…、はあ…。

ああ…、凄い…。

おちんちんよりも更に熱い精液（せいえき）が…、どぴゅっ…どぴゅっ…出ています…。

ああ…、まだ出てる…。

あなたもおちんちんも…、こんなにも身を震わせて…。

そんなに気持ちよかったんですか…？

そう…、よかった…♪

ふふっ…♪

オフィスで射精（しゃせい）だなんて…、初めてなんじゃないですか…？

ですよ…♪

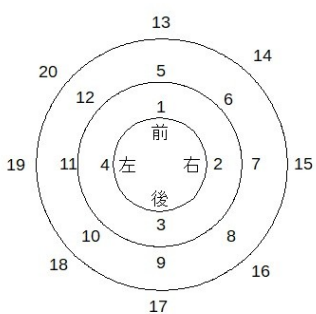
あ…、ティッシュお借りしますね…？

（ティッシュで手を拭く音）

（位置5／有声音／かなり小声）

あなたの精液まみれのおちんちんも拭いてあげないと…。

あ…、こーら…、動いてはいけませんっ…。



ふふっ…♪

いった後で敏感になっているんですね…？

分かっていますよ…♪

でも我慢…、ですっ…♪

よし…♪

(位置1／有声音／かなり小声)

さて…、もうそろそろお昼時間も終わりですし…、オフィスに戻ってくる人も増えそう…。
そうなる前に私も受付に戻らないと…。

あの…、また来てもいいですか…？

ダメなんですか…？

また気持ちいい事…、しましょうよ…♪

ね…？

いいんですね…？

よかった…♪

(位置2／有声音／かなり小声)

今度はもっとイケナイ事…、しましょうね…♪

(耳にキス) ちゅっ♪

5…深夜のオフィスにて (オフィス／夜)

(キーボードを打つ音)

(さおりの足音)

(位置19／有声音／小声)

こーんばーんは♪

また来ちゃいました♪

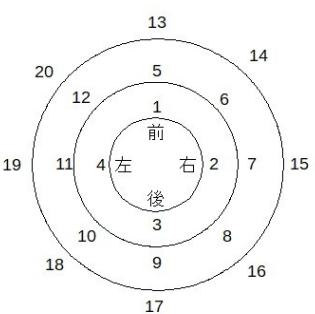
こんな遅い時間まで働いて、デスクワークも大変ですね。

あ、もしかしてお邪魔でしたか？

(さおりの足音)

(位置16から3へ移動しながら／有声音／小声)

そう、でしたらいいんですけれど。



(位置4で13の方を向きながら／有声音／かなり小声)
何のお仕事をしていたんですか…？

へえ…、クレーン対応のレポートですか…。

これ…、そんなに急ぎの案件なんですか…？

(位置4／有声音／かなり小声)

あら…、だったら今やらなくてもいいじゃないですか…？

え…？

ええ…、明日は明日でやる事がある…、ですか…。

へえ…、真面目なんですね…♪

ねえ…、終わるまで…、ここで待っていてもいいですか…？

ありがとうございます…♪

お邪魔してはいけませんので…、私は横で見えていますね…。

ほら…、作業を続けて下さい…？

(キーボードを打つ音)

あなたの指って…、綺麗ですよ…。

ええ…、前から思っていたんです…。

それにあなた…。

(匂いを嗅ぐ) すんすん…、すんすん…。

ああ…、これまでとはまた違う…、オスの匂いがします…。

こんな時間まで働いたからかしら…。

少し汗の匂いが混じって…、とってもエッチな香り…。

あら…、イケナイ…♪

(さゆりの足音)

(位置4から2へ移動しながら／有声音／かなり小声)

集中出来ないですよ…、ごめんなさい…♪

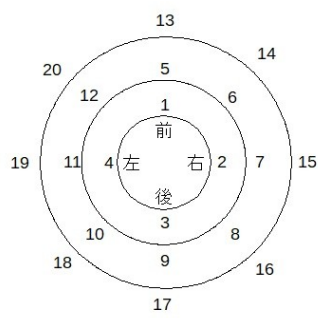
(位置2／有声音／かなり小声)

あ…、ここ…。

変換が間違ってますか…？

ほら…、ここです…。

あら…、ごめんなさい…、胸が当たっちゃいましたね…♪



あはっ…♪

そうです…♪

ワザと…、ですっ…♪

でも今は…、こっちに集中して下さいね…♪

このレポートが終わったたら…、イイ事…、しましうね…♪

イケナイ事って言った方が正しいかしら…♪

ほら…、手が止まっていますよ…？

（しばらくキーボードを打つ音）

（匂いを嗅ぐ） くんくん…、すーはー…。

（匂いを嗅ぐ） すー…、ふー…、すー…、ふー…。

（耳にキス） ちゅっ…♪

（位置～／無声音／囁き）

ねえ…、まだ終わらないんですか…？

私…、我慢出来そうにありません…。

お預けをされるのは…、余り好きではないんです…。

（匂いを嗅ぐ） すんすん…、すんすん…。

（位置～／有声音／かなり小声）

終わったんですか…？

お疲れさまでした…♪

では早速ですけど…、もう我慢出来ないの…。

また上に乗っちゃいますね…♪

（さゆりが上に跨る音）

（位置一／有声音／かなり小声）

私…、この体勢が好きなんです…♪

あなたに跨って…、上になっているだけで興奮してしまうんです…。

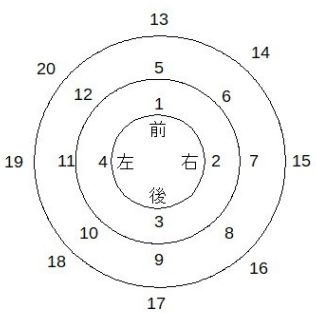
あなたを支配している…、そう思うだけで濡れてしまいます…。

どこが濡れるか…、分かっていますよね…？

あら…、とぼけるんですか…？

私…、今度はノーパンなんです…♪

確かめてみます…？



ほら…、手を貸してください…？

ここです…。

私の一番気持ちいい所…。

おまんこ…。

あっ…♪

ふふっ…♪

私のおまんこ…、もうビショビショでしょ…？

あなたの匂いを嗅いで…、待たされて…、今ようやく跨った…。

それだけでこんなに濡れてしまっているんです…。

こんなエッチな私は嫌いですか…？

誰にでもこんな訳じゃありませんよ…？

あなたにだけ…、いいえ…、あなただからこそ…、こうなってしまうんです…。

ねえ…、私のビショビショになったおまんこ…、責任を取ってくれませんか…？

どうやって…。

あなたのおちんちんで…、ですよ…♪

（服が擦れ合う音）

（位置1から2へ移動しながら／有声音／かなり小声）

まさかこの状況でとぼける気ですか…？

（位置2／有声音／かなり小声）

私の方は…、準備出来ているのに…？

さあ…、早くおちんちんを出してください…？

（ファスナーを下ろす音）

あはっ…♪

あなたも準備出来ているじゃないですか…♪

だってこんなにも…、硬い…。

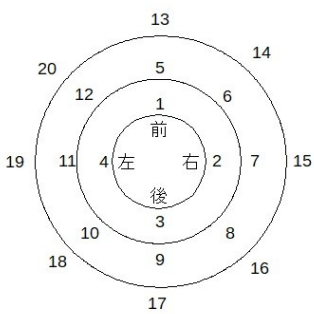
（服が擦れ合う音）

（位置2から1へ移動しながら／有声音／かなり小声）

では気持ちいい事…、始めましょうか…♪

（位置1／有声音／かなり小声）

ほら…、見えますか…？



おまんこの割れ目が…、あなたのおちんちんに…。
あんっ…♪

おちんちんがおまんこに触れただけで…、そんなにビクビク動かないで下さい…？
私まで感じちゃっじゃないですか…♪

あっ…♪

ふふっ…♪

気持ちいいですか…？

そう…、私もですよ…♪

ではこのまま腰を動かしますね…？

あら…？

（服が擦れ合う音）

（位置一からㇿへ移動しながら／有声音／かなり小声）

もしかして…、もう入れさせてもらえと思っていました…？

（位置ㇿ／有声音／かなり小声）

やる気満々じゃないですか…♪

でもまだダーメ…♪

前にも言ったでしょう…？

主導権は…、私にあるんだって…♪

ですから…、私が許可するまでは入れさせてあげませんっ…♪

（椅子が軋む音）

先ずはこうして…、おちんちんとおまんこを擦り合わせて…、

気持ちよくなりましょう…♪

（服が擦れ合う音）

（位置ㇿから一へ移動しながら／有声音／かなり小声）

あんっ…、あっ…♪

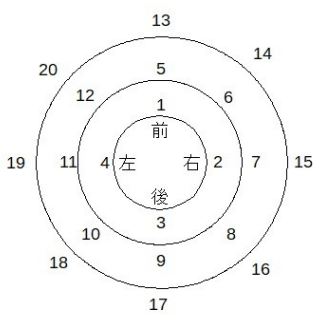
（位置一／有声音／かなり小声）

凄い…、熱くて硬いあなたのおちんちんが…、

あっ…、おまんこに擦れて…、更に熱くなっています…。

あなたにも分るでしょう…？

んんっ…♪



あぁっ…、あんっ…♪

(服が擦れ合う音)

(位置1から2へ移動しながら／有声音／かなり小声)
もっ…、もっと感じさせて下さい…。

(位置2／有声音／かなり小声)

(匂いを嗅ぐ) くんくん…、すーは…。

ああ…、さっきよりもエッチな匂いがしています…。

ダメ…、あっ…♪

またおまんこの奥から…、愛液(あいえき)が溢れてきちゃう…。

(匂いを嗅ぐ) すんすん…、すんすん…。

あんっ…♪

なに…？

お耳…、舐めて欲しいんですか…？

どうしましょう…？

あっ…♪

そうですね…、おまんこを気持ちよくしてくれていますから…、こゝ褒美をあげないと…♪

(水音少ない目の耳舐め)

はーむ…ぐりゅ…ぐりゅ…ぐりゅ…ぐりゅ…ぐりゅ…。

ずりゅ…ぐりゅ…ずりゅ…ぐりゅ…はぁ…ぐりゅ…ぐりゅ…。

レロ…ぐりゅ…ぐりゅ…ぐりゅ…はぁ…ぐりゅ…。

ずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅ…。

ずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅ…。

あんっ…♪

ぐりゅ…ぐりゅ…ずりゅ…ぐりゅ…ずりゅ…ぐりゅ…。

はーむ…ずりゅ…はぁ…ぐりゅ…ぐりゅ…ずりゅ…ぐりゅ…。

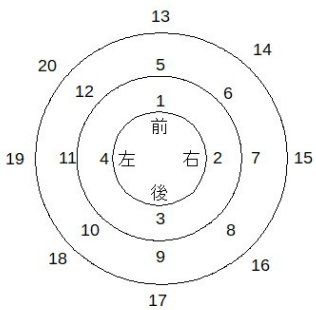
ずりゅ…ぐりゅ…ずりゅ…ぐりゅ…ぐりゅ…ぐりゅ…。

はーむ…ずりゅ…ぐりゅ…ぐりゅ…ずりゅ…ぐりゅ…。

ずりゅ…ぐりゅ…ずりゅ…ぐりゅ…はぁ…ぐりゅ…ぐりゅ…。

レロ…ずりゅ…ぐりゅ…はぁ…ぐりゅ…ずりゅ…ぐりゅ…。

ずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅずりゅ…。



ずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬ…。
ぞりぬ…ぞりぬ…ずりぬ…ぞりぬ…ずりぬ…ぞりぬ…。
はーむ…ずりぬ…はあ…ぞりぬ…ぞりぬ…ずりぬ…ぞりぬ…。
ずりぬ…ぞりぬ…ずりぬ…ぞりぬ…ぞりぬ…ぞりぬ…。

(二つまで耳舐め)

あっ…、ずりっ…♪

お耳を舐めたら…、更に硬く…、あんっ…♪

それにさっきから…、おちんちんの裏筋が…、私のクリに当たって…、あっ…♪

ああダメ…、おかしくなってしまうそう…。

反対も…？

(服が擦れ合う音)

(位置2から4へ移動しながら／有声音／かなり小声)

いいですよ…、舐めてあげます…♪

(位置4／有声音／かなり小声)

はあ…、はあ…。

こっちも舐めたら…、はあ…、あなたのおちんちん…、どうなってしまうのかしら…。
今でさえこんな…、反り返る程パンパンなのに…。

(水音少ない目の耳舐め)

はーむ…ぞりぬ…ぞりぬ…ぞりぬ…ぞりぬ…ぞりぬ…。

ずりぬ…ぞりぬ…ずりぬ…ぞりぬ…はあ…ぞりぬ…ぞりぬ…。

レロ…ぞりぬ…ぞりぬ…ぞりぬ…はあ…ぞりぬ…。

ずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬ…。

ずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬずりぬ…。

あんっ…♪

ぞりぬ…ぞりぬ…ずりぬ…ぞりぬ…ずりぬ…ぞりぬ…。

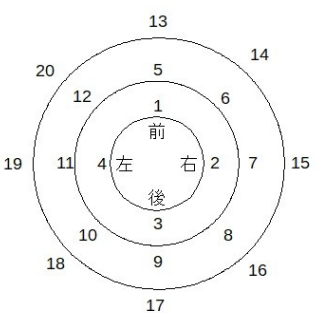
はーむ…ずりぬ…はあ…ぞりぬ…ぞりぬ…ずりぬ…ぞりぬ…。

ずりぬ…ぞりぬ…ずりぬ…ぞりぬ…ぞりぬ…ぞりぬ…。

はーむ…ずりぬ…ぞりぬ…ぞりぬ…ずりぬ…ぞりぬ…。

ずりぬ…ぞりぬ…ずりぬ…ぞりぬ…はあ…ぞりぬ…ぞりぬ…。

レロ…ずりぬ…ぞりぬ…はあ…ぞりぬ…ずりぬ…ぞりぬ…。



私も体重を乗せて…、擦りつけますから…♪

あああつ…♪

凄い…♪

私の気持ちいい所…、全部刺激されちゃっています…♪

あつ…、ダメ…。

やだ…。

私だけ…、先にイっちゃうかもしれません…。

そんなの嫌…。

あなたと一緒にいい…。

ねえ…、イきそう…？

いくの…？

よかった…、一緒にイけますね…♪

うん…、出そうなんです…？

分かります…。

あなたのおちんちん…、ピクッピクッて痙攣しているんですもの…。

もう射精寸前なんです…♪

私も…、もうダメ…。

来ちゃう…。

気持ちいいの来ちゃう…。

あつ…、あつ…、あああつ…。

イツ…、くつ…。

(絶頂) あああつ…！

あつ…、あつ…。

はあ…、はあ…。

ああ…。

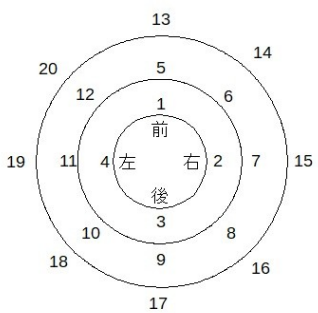
私…、イっちゃいました…。

やだ…、イっちゃったのに…、まだ腰…、止まらない…。

あなたも…、たくさん出ましたね…♪

あんつ…♪

あなたのおちんちん…、脈打っていて…、それで私まで感じちゃう…。



トロトロになった私のおまんこ…、おちんちんに絡み付いて…、離れてくれない…。

敏感になっていきますから…、ダメ…、あつ…。

どうしよう…、またイっちゃうかもしれません…。

あんつ…、私一人で…またイっちゃいそうです…。

もう…ダメ…。

私がいく所…、見ていてくれませんか…？

はしたなく喘いで…、絶頂する所…。

ああつ…、来ちゃう…、イっちゃう…。

もう…、ダ…、メ…。

あああつ…。

あつ…、あつ…。

はあ…、はあ…。

私一人でイっちゃいました…。

気持ちよすぎて…、おかしくなりそうです…。

はあ…、はあ…。

はあ…、はあ…。

6…一線を超えて（オフィス／夜）

（位置一／有声音／かなり小声）

（息を切らしながら）

ふう…。

ああ…、気持ち…、よかった…。

はあ…、はあ…♪

ねえ…、このまま終わるつもりはないですよね…？

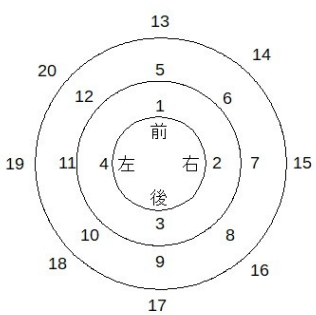
ここまでしておいて…、本番をしないだなんて…。

ふふつ…。

言葉を選んでる様ですけど、こっちは正直みたいですよ…♪

射精した後なのに…、おちんちんギンギンなんですもん…♪

ですから…、もっと気持ちよくなりましょう…？



私も…、もつと気持ちよくなりたいんです…。

ダメ…ですか…？

これ以上は…、一線を超えてしまう…、分かっているんです…。

でも…、分かっているても…、もう抑えられません…。

快楽という誘惑…、甘美な香り…、我慢出来ないんです…♪

ね…？

いいでしょう…？

もし嫌と言っても…、もう遅いんです…。

だって…、上に乗られているあなたは…、逃げられないんですもの…♪

入れてもいいですよね…？

私だって…、同意の上でしたいんです…。

ですから…、お返事…、聞かせてくれませんか…？

いいんですね…？

嬉しいです…♪

あなたのお返事を聞いて…、益々濡れて来てしまいました…。

これなら…、すんなり入りそう…。

では早速…、入れますね…♪

ん…。

あんっ…♪

ほら…、おちんちんの先が…、おまんこの割れ目に擦れてるの…、分かります…？

今からここに…、入れるんですよ…？

ああ…、入っちゃう…。

あとは私が腰を落とすだけ…。

行きますよ…♪

あっ…、あああっ…♪

入っちゃった…♪

あっ…♪

ふふっ…♪

お互いいったばかりで…、敏感になっていきますね…♪

入れただけなのに…、おちんちんも…、おまんこも痙攣しちゃってる…、あんっ…♪

ああ…、どうしよう…。

まだ動いていないのに…、こんなにも感じてしまっています…。

それなのに…、動いたら…、どうなってしまうのかしら…。

あなたは…？

私の中…、トロトロになったおまんこ…、気持ちいいですか…？

そう…、よかった…。

ねえ…、私から動いてもいいですか…？

ありがとうございます…♪

では動きますね…？

あつ…、あんつ…、はあ…、はっ…、んっ…、んっ…♪

私…、この体勢が…、あつ…、大好きなんです…♪

あなたが感じている顔を…、見下ろしながらしているの…、凄く興奮しちゃいます…♪

ねえ…、目の前で私の胸が揺れているのに…、触ってくれないんですか…？

いいんですよ…？

それとも…、舐めたいですか…？

そう…。

でしたら舌を出して下さい…？

ほら…、私の乳首…、あなたの舌に…。

ああっ…♪

硬くなった私の乳首…、柔らかいあなたの舌に当たってる…♪

舌…、動かしていいんですからね…？

あんっ…♪

そう…、チロチロ舐めたり…、吸ったり…、好きな様にして下さい…？

あつ…、それ…、あんっ…、それ…、ダメ…。

あつ…、それ…、凄い…。

甘噛み…、凄い気持ちいいです…♪

ふう…、ふう…。

反対側も…、してくれませんか…？

ああっ…、どうしよう…、甘噛みされる度に…、腰…、ヒクヒク動いちゃいます…。

あつ…、んっんっ…、はあ…、あんっ…♪

こんなの…ダメ…。

直ぐにイっちゃう…。

ふう…、ふう…。

少し休憩しましょう…？

キス…、してくれませんか…？

んちゅ…、んっ…、ちゅぱっ…、んんっ…、はぁ…♪

ぁぁ…、こっちも…、トロトロになっていますね…♪

ちゅっ…、んっ…、んー…、はぁ…、ちゅる…、ちゅぱっ…。

やだ…、何か…、感じちゃう…。

キス…、してる…、だけなのに…。

そっか…、入れたままのキスって…、こんなにも気持ちいいんですね…♪
もっと下さい…。

ちゅぱっ…、んんっ…、じゅる…、んっ…、んっ…、ちゅぱっ…♪

はぁ…、はぁ…♪

ねぁ…、また腰…、動かしてもいいですか…？

私の中に…、出しているですから…、もっと気持ちよく…、なりましょう…？

そう…、中出し…、してもいいですから…。

気持ちよくして…、下さい…。

やだ私…、無意識に…、もう動いちゃってる…。

恥ずかしいです…。

だって…、キスをしただけで…、おちんちんがビクンっビクンって動くんですもの…。

その度に…、おまんこの中…、擦れて感じちゃうんです…。

もう我慢出来ません…。

あなたも…、我慢しなくて…、いいですからね…？

そうだ…。

あなた…、中でいった事…、ありますか…？

そうですか…。

じゃあ私が…、連れて行ってあげます…♪

快樂の…、そのまた向こうへ…♪

ほら…、あなたも突いて…？

あんっ…♪

そう…、そうです…。

ああ…、奥に…、私の気持ちいい所に…、届いて…、あっ…♪

腰を落とす度…、あなたが突く度に…、コツ…、コツって当たってるの…、

分かりますか…？

一番奥まで届いています…、ああっ…♪

凄い…、凄いっ…。

何これ…。

こんなの…、初めてです…。

ああ…、どうしましょう…、来ちゃう…。

あっ…、ああっ…、イッ…、私…、イっちゃう…。

嫌…、私だけいくのは嫌…。

でももう駄目です…。

あっ…。

(絶頂) あああっ…。

あっ……あっ…。

やだ…、はあ…、はあ…、イっちゃいました…。

あなたは…？

いきそっなの…？

ええ…、来て…、私の中に出して…。

あっ…、あんっ…、んっ…んんっ…。

あっ…、嘘…、私…、またイっちゃう…。

こんなの…、初めて…、んんっ…。

いく…？

いつでもいいですよ…。

来て…？

来てっ…？

来てえええあっ…！

(絶頂) ああああっ…！

あっ……、あっ……。

すごつ…、あつ…、熱いのが…、出てる…。

おちんちんパンパンで…、おまんこも締まってて…、精液が行き場を探してる…。
じんわり私の中に広がって…、凄く温かい…。

はあ…、はあ…。

ねえ…、しばらくこのままで…、いさせてもらえませんか…？

あなたの温もりを…、肌で…、おまんこで…、全身で感じていたいんです…。

(匂いを嗅ぐ) すー…、はー…。

ああ…、精液と愛液が混じり合って…、とてもエッチな匂い…。

もう後には退けませんね…。

だって私…、あなたの事が好きなんですもの…。

ううん…、もうあなたなしでは生きられない…。

そう…、禁断の果実を口にしたら…、あの時から…。

7…快樂のその先に待つ真実(オフィス／夜)

(位置5／有声音／小声)

ああ…、凄く気持ちよかったです…♪

もしよろしければ…、またしてくれませんか…？

それとも…、私みたいな女性は嫌いですか…？

そう…、よかった…♪

あなたは罪な人です…。

だって…、こんなにもあなたを求めてしまうんですもの…。

いいえ…、違う…。

罪深いのは私の方…。

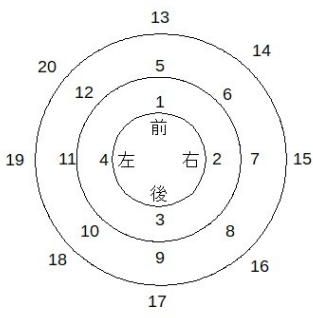
実は…、あのマッチングアプリ…。

ダミーアプリなんです…。

つまり…、存在しないアプリ…、という事です…。

やはり…、キョトンとしていますね…。

あのアプリは…、私が作ったものなんです…。



正確には作らせた…、と言った方がいいですね…。

あれはそう…、半年くらい前でした…。

社内で噂になっている…、ルーキーが居るって…。

最初はそんな噂話…、気にも留めなかった…。

だって父の会社で働く社員さんですもの…。

優秀でないと困ります…。

だけどその考えは覆った…。

そう…。

偶然あなたのプレゼンを聞くまでは…。

あなた覚えています…？

そう。

開発中の建築材に不十分な所があるって…、プレゼンしていたでしょう…？

あの場に私も居たんです…。

建築材の耐久性について欠陥があるって…、そう訴えかけていた…。

その場に居た誰もが…、でっち上げだって言っただけで聞かなかった…。

ああいう話題って誰しも目を背けたくなるもの…。

でもあなたは退かなかった…。

このままでは重大な事故に繋がるって…。

一对多数の状況下で…、あなたの目は…、火が消えるどころか輝いていた…。

ああ…、この人は本気で会社の未来とお取引先…、

それにお客さんの事を考えているんだって…。

そういう熱を感じた…。

それで私…、プレゼン中なのに…、その…、濡れてしまっただけ…。

そう…、孤軍奮闘するあなたに…、興奮してしまったんです…。

言ってみれば一目惚れでした…。

ううん…、もうそういう程度ではありませんでした…。

あなたに興味がある…。

あなたに近付きたい…。

あなたが欲しい…。

なら手に入れてしまえばいいって…。

その後は簡単でした…。

あなたの同僚に、それとなくあのアプリを勧めました…。
気に入ったら他の社員さんにも勧めて下さい、とも。

私は待ちました…。

その時が来るのを…。

数日後、あなたが釣れました…。

登録時に本名を入力しましたよね…？

それで間違いない、あなただって。

嬉しくて私、真っ先にあなたに全力でアプローチしました。

でも私一人だけだと怪しまれるかなと思い、

他のアカウントも作って、成り済ましてあなたに色々と質問したりしていました。

そう、他の女性と思っていたのは全部私です。

あなたは他の女性にどう反応するんだろう…、と思ってしまい不安でした。

でもあなただったら、アプリ内でも凄く真面目で、隙がない人だなって思いましたつけ。

アプリでの会話が進むに連れ、騙している事を段々と後ろめたくなってしまつて…。

それで実際に会う事を提案したんです。

真面目なあなたですから、誘っても断られるんじゃないか…、そう思っていました。

でも違つた。

あなたは快くオーケーしてくれました。

それがどれだけ嬉しかったか…。

それに…、返事を聞いた時からずっと…、身体が疼いてしまつて…。

毎日「待て」をされている様で…、中々眠れない日もありました…。

待ちに待った当日…。

予めアプリで、あのお店を予約してくれる様に誘導した。

ええ、これも計算通りでした。

ですからオーナーに話しを通して貸し切りに…。

お店にお客さんは私達二人きり…。

もう我慢出来なかった…。

そう…、私はあの日、禁断の果实を口にしてしまったんです…。

これが真実。

全貌です…。

こんな事までしてあなたに近付いて…、私の事、嫌いになりましたか…？
そう…ですか…。

あなたはどこまでも真面目で…、優しいんですね…。

そんなあなただからこそ…、好きになったんです。

はい、何でしょう…？

ええ…、ええ…。

えっ…？

ダミーアプリだと…、気付いていた…？

嘘はやめて下さい…。

冗談にしては突飛過ぎます…。

え…？

はい、続きですか…。

ええ…、ええ…。

なっ…！

要するに、ここに赴く前は、アプリ開発に従事していたって事ですか…？
嘘…。

そんな…、だってあなたの経歴も調べましたが、

そんな事、どこにも書かれていませんでしたよ…？

機密事項…。

もしかして、この会社よりもっと上の…、例えば政府の機関に居た…とか…？
ですよね…。

言えないですよね…。

でもどうして…。

どうしてダミーだと分かっている、アプリをインストールしたんですか…？
えっ…。

父からの依頼…？

な、何を言っているんです…？

何故父が出てくるんですか…？

(閃いたという様に) はっ！

まさか…、父が「私が婚約相手連れてくる」と言っていたのが…、あなた…？
ああ…、嘘…。

眩暈がしてきました…。

え、ではここまで父のシナリオ通りだった…、という事ですか…？
はあ…。

ではこれまであなたを掌握（しようあく）していると思っていたのは、
すべて思い過（お）ごしたんですね…。

はい…、やられました…。
はあ…。

でも、あなたが好き、というのは事実です。

これは真実を聞いた今でも揺らいでいません。

あなたは…？

惨めな私は…、嫌ですか…？

本当…？

でしたらあなたを好きで居ていいんですね…？

でしたらその…、関係が続けて下さいませんか…？

いえ、この際ハッキリ言います。

順序が逆になってしまいましたが…、私は…、あなたが好きです…。

ですから…、お付き合いして下さい…。

いいんですか…？

嬉しい…。

ありがとうございます…♪

（深呼吸） ふー…、すー…。

あーあ、この半年、何をやっていたんでしょう…。

こんな展開、まるで作り話みたい。

でもこの気持ち…、好きっていう気持ちは、紛れもなく本物…。

ですので、これからどうぞよろしくお願いします♪

では早速ですが、父に会いに行きましか？

ええ、言う事はもう決まっています。

「参りました」ってね♪